

# 基本構想2030市民フォーラム

## 次 第

令和2年11月29日（日）13時から16時  
あがたの森文化会館 講堂ホール

### 1 開 会

### 2 第一部 基本構想2030 素々案

#### (1) プレゼンテーション（～13時30分）

##### プレゼンター

基本構想2030市民会議 座長

清泉女子大学 文学部 教授 山本 達也 氏

#### (2) 対談・質疑（13時30分～14時15分）

##### コメンテーター

studio-L 代表／コミュニティデザイナー 山崎 亮 氏

### 3 休憩（14時15分～14時30分）

※ 舞台転換を行いますので、参加者のみなさまは、会場東側の  
控室を適宜ご利用ください。

### 4 第二部 グループディスカッション（14時30分～16時）

##### コーディネーター 山崎 亮 氏

### 5 閉会

## 基本理念

### 三ガク都のアップデート(仮)

松本市民は  
「日常的」に

**岳** 自然豊かな環境に感謝し

**楽** 日々の生活の中で文化・芸術に親しみ

**学** 共に生涯学び続ける

三ガク都に象徴される松本らしさを深化させる10年

## 基本目標

### みとめる

自分らしく生き  
支え合う

### いどむ

新たな価値を  
創造し、常に  
進化し続ける

### まなぶ

共にはぐくみ  
学び続ける

### 松本の地域特性を活かした 循環型社会の追求

#### 【各行動指針に共通する視点】

- ① 世界の潮流 (Think Globally)
- ② 柔軟性
- ③ 持続可能性
- ④ 質の追求 (人口減少社会)
- ⑤ テクノロジー
- ⑥ 多様性・共生・利他の精神
- ⑦ だれもがチャレンジできる

### つなぐ

人・街・自然を  
つなぎ直し  
未来に贈る

### いかす

自然・歴史・文化の  
恵みを受け継ぎ  
磨く

## 行動指針

## 計画の性格

持続可能な松本市の実現に向けて「何のために、何をする」を常に問う

- 次の50年、100年先の松本の社会基盤をつくる計画
- 柔軟性を有し、社会状況の変化に対応できる計画
- 松本の地域特性を強みとして活かす計画

松本市基本構想2030市民会議 委員名簿

座 長 山本 達也  
座長代理 益山 代利子

部会	主な政策 検討分野	委 員			部会 長
		専門分野	氏名	所属等	
都市計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まちづくり</li> <li>・交通</li> <li>・防災、減災</li> <li>・移住、定住</li> <li>・市役所、住民自治</li> </ul>	公共政策	ヤマモト タツヤ 山本 達也	清泉女子大学 文学部 地球市民学科 教授	○
		交通インフラ	ミワ ヒロヒコ 三輪 裕彦	アルピコホールディングス (株) 取締役 経営企画部 部長	
		イベント企画	ヤマムラ カズナガ 山村 和永	(株) 薬師平リゾート 代表取締役	
		防災・減災	ウエハラ ミチヤ 上原 道家	松本市防災連合会 会長	
		自治・町会	ウチヤマ ヒロユキ 内山 博行	松本市町会連合会 会長	
		環境・森林	ハラ カオル 原 薫	一般社団法人 ソマミチ 代表理事	
		移住・空き家	キクチ トオル 菊地 徹	栗日 店主	
経済振興	<ul style="list-style-type: none"> <li>・産業</li> <li>・観光</li> <li>・エネルギー</li> <li>・文化、スポーツ</li> <li>・共創、協働</li> </ul>	地域戦略	ハヤシ ヤスト 林 靖人	信州大学 学術研究院 総合人間科学系 教授 (産学官連携推進機構 [SUIRLO] 本部長)	○
		マーケティング	マサヤマ ヨリコ 益山 代利子	松本大学総合経営学部 観光ホスピタリティ学科 教授	
		エネルギー	シミズ タダアキ 清水 是昭	松本ガス (株) 代表取締役社長	
		観光・宿泊	サイトウ タダマサ 齊藤 忠政	(株) 明神館 代表取締役	
		経営・協働	ワタナベ キョウタ 渡邊 匡太	(株) スキト 代表取締役	
		芸術・文化	イトウ ヒロシ 伊藤 博敏	NPO法人クラフト推進協会 代表理事 ( (一財) 松本市芸術文化振興財団 評議員)	
		山岳リゾート	ミヤシタ ユウスケ 宮下 祐介	若者コミュニティ 【Bridge~AIM~】 主宰	
教育厚生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て、教育</li> <li>・健康、医療、福祉</li> <li>・多文化共生</li> </ul>	教育行政	アライ エイジロウ 荒井 英治郎	信州大学 教職支援センター 准教授 (学術研究院 総合人間科学系 地域連携部門長)	○
		子育て ・幼児教育	ウンノ アケミツ 海野 暁光	長野県保育連盟 会長 (認定こども園深志 園長)	
		高齢者 ・障がい者	ミムラ ヒトシ 三村 仁志	長野県社会福祉士会 前会長 (中信社会福祉協会 障害者支援施設ささらの里 施設長)	
		公民館活動	クボタ タカヒコ 窪田 隆彦	松本市町内公民館長会 会長	
		人材育成	アカスマ ルミコ 赤沼 留美子	(株) スマイル・ラボ 代表取締役	
		多文化共生	サトウ ヨシコ 佐藤 佳子	NPO法人中信多文化共生ネットワーク日本語教育アドバイザー (松本市多文化共生プラザ 日本語教育相談員)	
		学生・若者	ウチダ ユウカ 内田 佑香	信州大学 地域参画プロジェクトCHANGE 代表	

# 松本市基本構想 2030 市民フォーラム

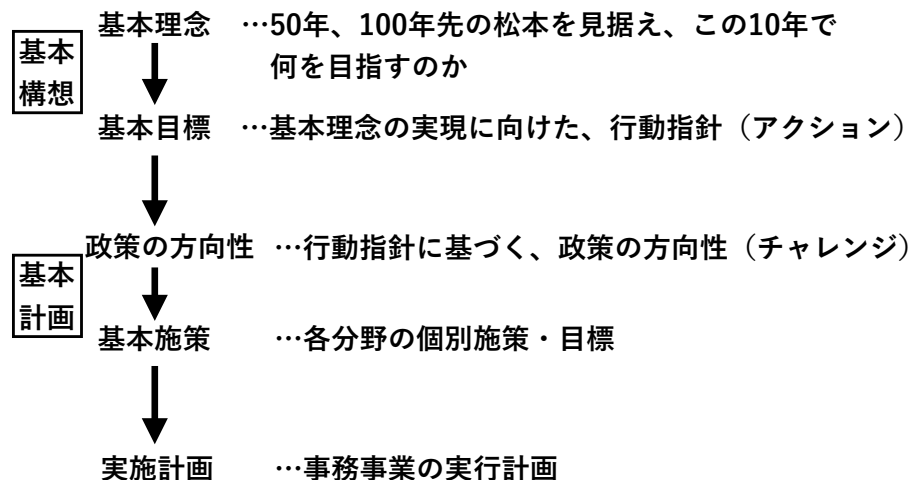


2020年11月29日（日）

13:00～16:00

あがたの森文化会館 講堂ホール

## 松本市における基本構想の位置付け



## 市民を主体とした基本構想策定方式の採用

### <これまで>

行政が取りまとめた原案に対して、市民の意見（答申）を述べ、その内容を反映。



### <今回>

市民で構成される**松本市基本構想2030市民会議**による原案作成  
市民会議（市民）がとりまとめた原案をもとに、行政としての視点を加えさらに広く市民意見を反映させて完成させる方式の採用

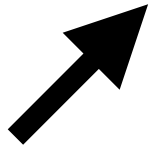
## 松本市基本構想2030市民会議

- 2021年度－2030年度の松本市のまちづくりの指針を、各界各層の市民と共に策定することを目的に設置
- 委員21名を市長が選任
- 昨年度（2019年度）に市が実施した「市民意識調査」や基礎調査結果に基づく課題整理をふまえ、以下の3部会を設置。
  - ▶ 都市計画部会
  - ▶ 経済振興部会
  - ▶ 教育厚生部会
- これまでに計4回の会議（毎回3時間程度）を開催

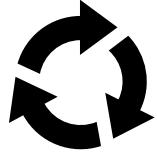
## 20世紀型の都市の到達点と、これからの都市が目指す方向



～20世紀



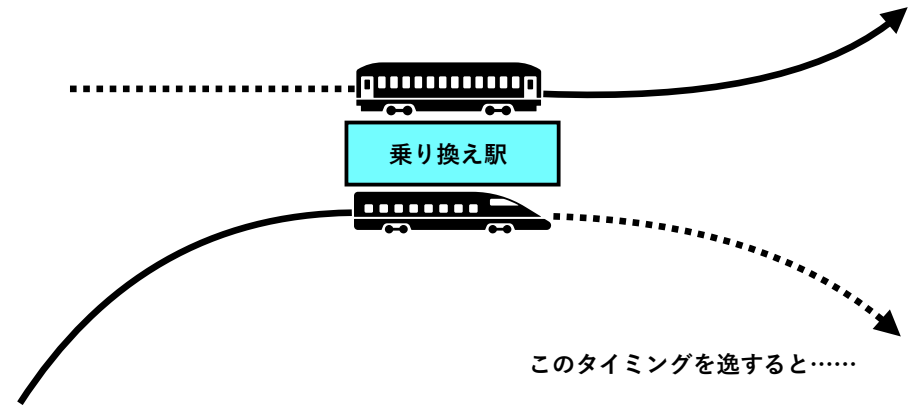
21世紀～



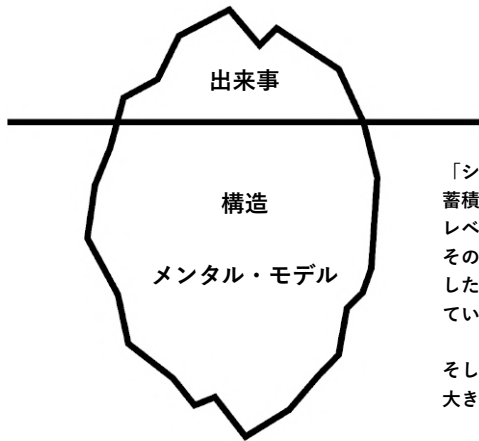
## 社会モデルの「乗り換え」のタイミング

～20世紀

21世紀～



## 「冰山」の「全体」を捉える



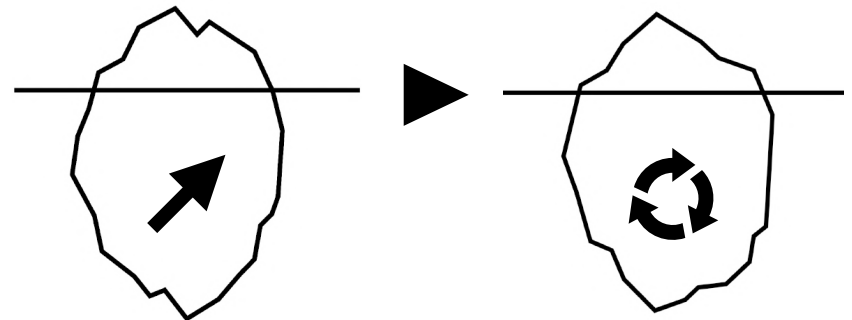
「システム・ダイナミズム」に関する研究蓄積は、氷山の一角でしかない「出来事」レベルではなく、システムの「構造」やその奥に潜む「メンタル・モデル」を意識した上で変化を志向する重要性を指し示している。

そして、氷山は、海面下の方が圧倒的に大きい！

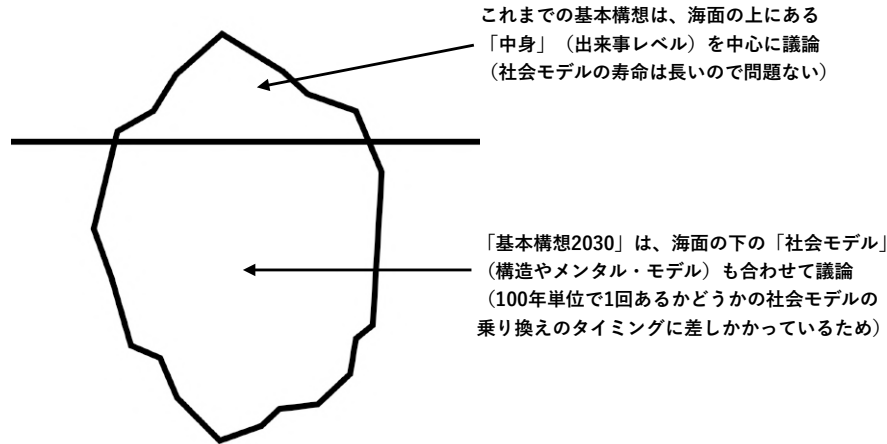
## 前提とする社会モデルの「組み替え」

～20世紀

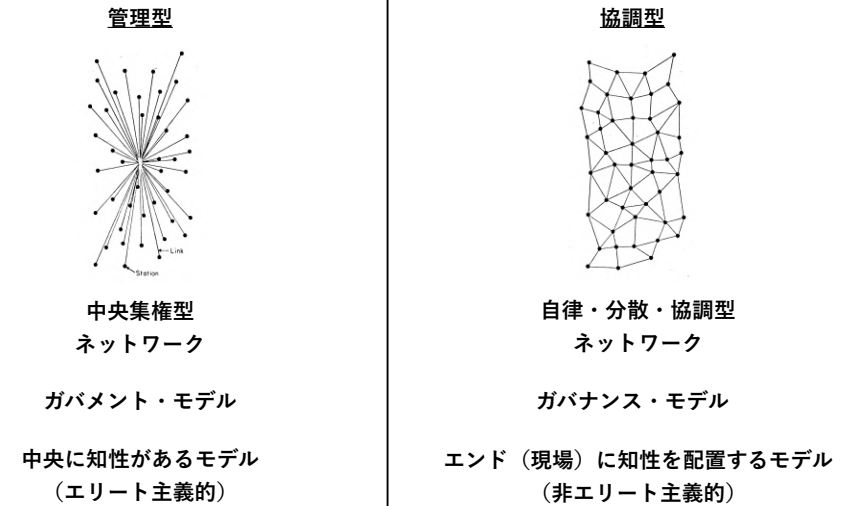
21世紀～



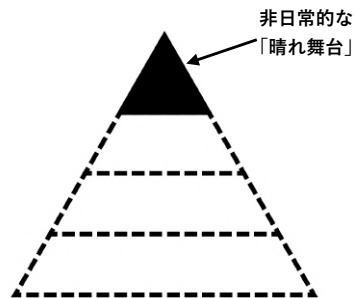
## 「基本構想2030」では「海面下も」強く意識



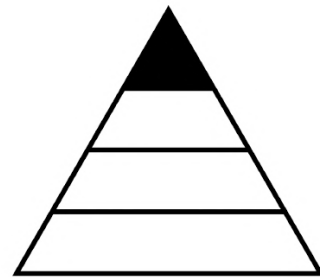
## 協調型を可能とするテクノロジーの存在



## 基礎や土台としての「日常」



基礎や土台（日常部分）がもろいと  
せっかくの非日常的な「晴れ舞台」も  
ぐらついたものになりかねない



盤石で頑強な基礎や土台（日常部分）に  
裏打ちされた非日常的な「晴れ舞台」は  
ぐらつくことなく、「本物」の輝きを放つ

## 3つの意識変革（これから）

質

協調

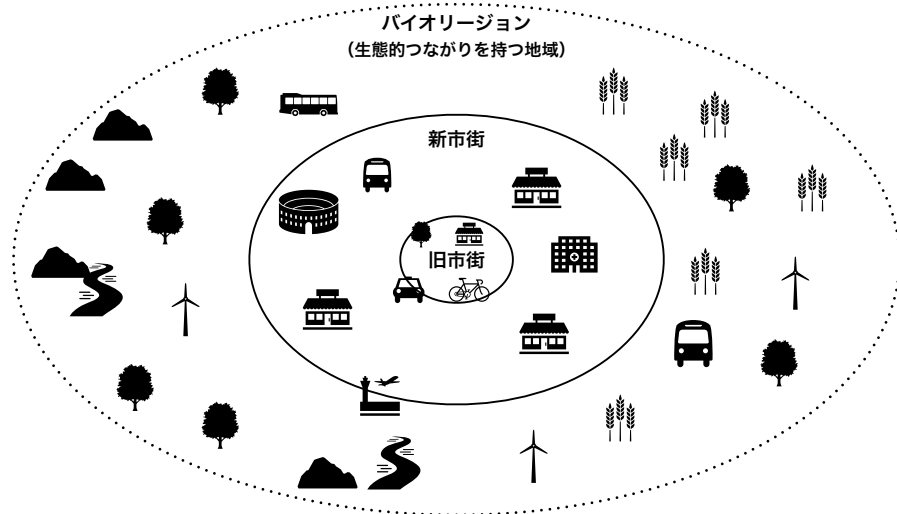
日常

量

管理

非日常

## どのエリアも大切な「松本市」



## 各部会の議論で示された主要ポイント

### 都市計画部会

- ◎教育／市民の気質  
松本の将来を担う子どもを育て、大人もアップデートできるまち  
・「教育」を都市戦略の中に位置づける  
・常に学び続けられる。年代に関わらず、学び、挑戦でき、多様な人々が活躍できる。
- ◎文化と産業創出  
松本の文化を活かし、育むクリエイティブ産業の創出
- ◎自治・町会・コミュニティ／防災・減災  
力強く残っている松本のコミュニティ力の、これからの時代に合わせた再生・強化

## 各部会の議論で示された主要ポイント

### 都市計画部会

- ◎自然環境  
市民が自然の恵み・恩恵に敬意を表するとともに、まちづくりに活用していく  
・松本の強みである自然に対する敬意と保全  
・森林資源のまちづくりへの活用  
・自然資源の循環を踏まえた都市計画
- ◎都市環境  
松本の文化・歴史の積層を活かしたまちの再生  
農山村・里山などの中山間地の伝統に育まれたまちづくり
- ◎交通インフラ  
発想の転換による車社会が抱える問題への対処（徒歩や自転車でもちを感じる暮らしへの転換）  
・中心市街地を歩行者、自転車で生活できるまちに  
・公共交通網のあり方の検討（特に郊外部）

## 各部会の議論で示された主要ポイント

### 経済振興部会

- ◎松本らしさを磨き、叡智をいかした新たな価値の創造  
・環境の変化をポジティブに捉え、松本の強みを生かした競う力（競創力）を培う。  
・経済活動拠点として周辺市町村との繋がりや連携を強化し、成長の相乗効果を生み出す。
- ◎叡智を生み出すづくり  
・クリエイティブ人材の呼び込みや挑戦者に対する支援を強化する。  
・農業・観光業へのICT（情報通信技術）の導入と人材教育支援。  
・なりわいの創出。
- ◎商・工・観・農林業の連携による高付加価値化  
・自然の恵みを生かした経済活動  
・持久可能な観光都市となるための農産品や食の強化、商・工業連携

## 各部会の議論で示された主要ポイント

### 教育厚生部会

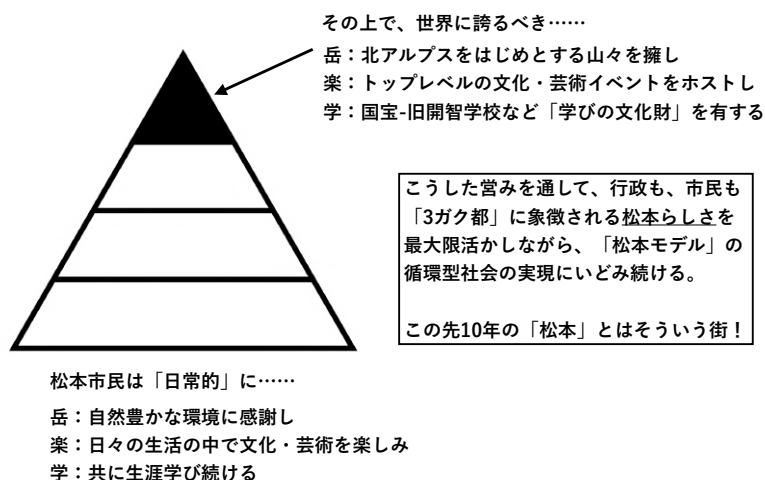
- ◎キャリア教育・学び直し
  - ・人生の選択肢を増やすキャリア教育の充実
  - ・成長し、学び続ける人を応援する仕組みづくり
- ◎幼少期の教育・保育／小中学校教育
  - ・家庭や地域ぐるみの子育て・教育の強化
  - ・非認知的能力の向上、自己肯定感の醸成に向けた教育機会の創出
  - ・子どもの個性を伸ばし、多様性を受け入れる環境の創出
- ◎公民館・町会・コミュニティ
  - ・地域活動の促進に向けた町会や公民館の役割整理・機能強化
  - ・地域活動の担い手確保

## 各部会の議論で示された主要ポイント

### 教育厚生部会

- ◎多文化共生
  - ・多様性を受け入れる共生社会の実現
- ◎生活貧困
  - ・貧困を再生産させない仕組みづくり
  - ・セーフティネットの安定化
- ◎障がい福祉
  - ・誰も取り残されない共生社会、インクルーシブな社会、多様性のあるまちの実現
  - ・より包括的な支援体制の構築
  - ・在宅生活の継続に向けた制度設計
  - ・障がい児の家庭や発達障がいへの支援強化

## 基本理念としての3ガク都のアップデート

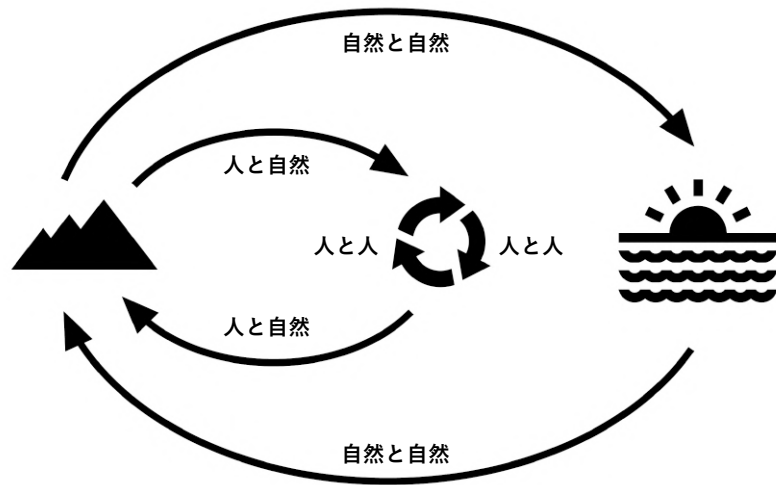


## 「基本構想2030」の性格

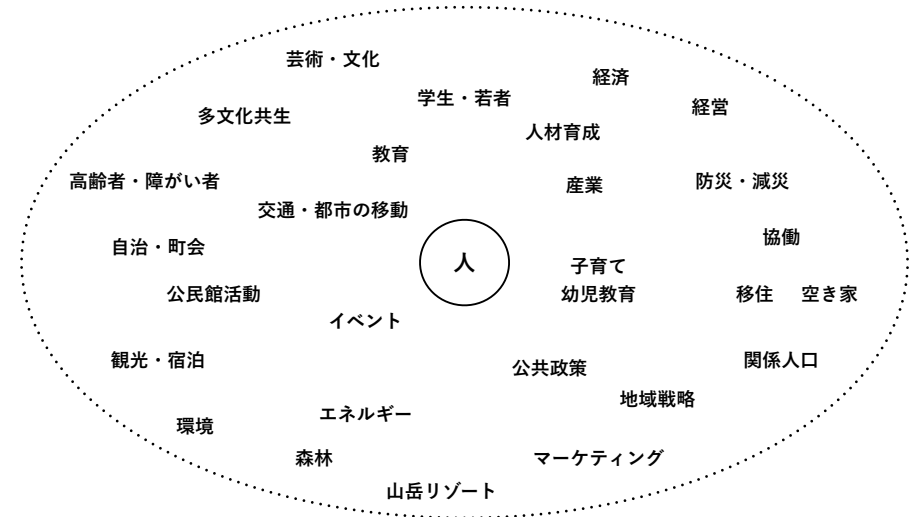
- ◎市民や行政の行動指針となるもの
- ◎行政の参考軸となるもの
- ◎市民や行政の価値判断となるもの
  - ▶ 「遠い目標」を示すだけでなく、具体的な行動を促すもの
  - ▶ ナッジ（行動を促すきっかけ）のような働きをするもの
- ◎変化の激しい時代に、持続可能な松本市の実現に向けて「目的」（何のために）と「行動目標」（何を）を示すもの
  - ① 次の50年、100年先の松本の社会基盤を作る計画
  - ② 柔軟性を有し、状況・環境の変化に対応できる計画
  - ③ 松本の地域特性を強みとして活かす計画



### 3つのレベルでの「つなぎ直し」で目指す循環型へのシフト



### 「人」中心の「デザイン思考」的なアプローチ



### 松本市を駆動する「エンジン」としての5つの循環



主語は？

目的語は？

行政の役割は？

「thank you!」